

市政報告

Municipal administration report
from Ishii Isamu

平成26年10月号外

松政クラブ

石井いさむ

発行者 松戸市議会議員 石井いさむ
連絡先 松戸市役所
〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5



六実六高台を“住み続けたいまち”に!

六実駅周辺の再開発は今、 最大で最後のチャンスを迎えています。

詳しい情報は、↓↓こちらから↓↓

六実駅周辺地域については、かねてより再開発準備組合を設置し、実現に向けた議論が活発に行われております。近年では広く地域住民の参加を募った六実まちづくりワーキンググループを設置し検討を進めていますが、合意形成は難しく、大きなチャンスに恵まれないまま現在に至っております。

その中で今、六実駅周辺の再開発を促進する4つのチャンスが同時に訪れています。

それは、「市長が六実駅周辺のまちづくりを重要課題の1つとして掲げたこと(右表参照)」、「国の新方針”コンパクトシティ”が駅を中心としたまちづくりであること」、「東武鉄道が中期経営計画で六実～逆井間の複線化を推進していること」、「東京オリンピック開催に向け松戸市にも再開発推進の期待が高まっていること」です。



六実駅前の様子
(平成26年9月現在)

表 平成26年9月議会での質問事項①

テーマ：六実駅周辺のまちづくりについて

質問内容	市役所からの回答要旨
市長「私の使命」における「六実駅周辺のまちづくりを検討します」の発言にどのような戦略をお持ちか？	六実駅周辺地区のまちづくりは市長の掲げる重要課題の1つですので、実現に向け様々な要因に注視しながら、適切に促進して参ります。

もしかすると、これが最後のチャンスかもしれません。

図 六実駅再開発の「チャンス」と「ピンチ」

今までにない、「最高のチャンス」

- 1.市が重要課題として認識
- 2.国の方針にあっている
- 3.東武が複線化を検討している
- 4.オリンピックに伴う”特需”を期待

六実駅前再開発

- 1.検討する方の”高齢化”
- 2.利用者の減少傾向

実質的には、「最後のチャンス」?

その一方で、残念ながら、六実駅の再開発を考える上での不安材料があります。それは「駅前再開発を検討する方々の高齢化」と「六実駅利用者数の減少傾向」です。

チャンスが期限付きであること、時間が経過すれば状況が悪化してしまう危険性があることから、今回のチャンスは、もしかすると「最後のチャンス」なのではないかと考えています。このチャンスを活かすため、近隣住民の皆さまはもちろん、市・県・国と連携し、再開発への道筋を整えて行くことは、六実に住む市議会議員である私の役割です。実現に向け是非、皆さまのご意見をお聞かせください。

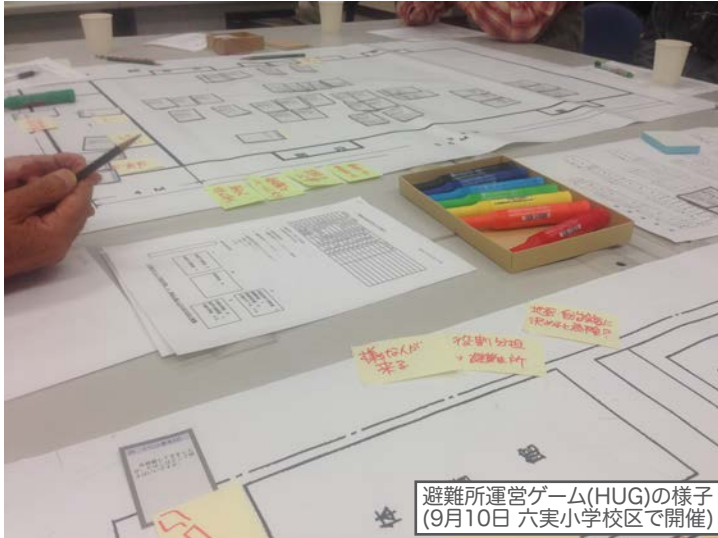
関連記事はこちら。→→→→

<http://d.hatena.ne.jp/ishii136/20141003/p1>



“災害が発生しても安心できる”地域づくりに向けて

“六実発”の避難所運営会議が、市内全域に展開されます！



東日本大震災の記憶も新しいところですが、昨今では集中豪雨や竜巻による災害も多発しております。このことから、防災対策の重要性は日々高まっていると言えます。

災害時にも慌てず、安心できる基盤づくりのためには、なにが大切でしょうか？私は、行政の仕組みづくりはもちろん、なにより実際に災害に直面する地域住民の皆さまの意識の高まりが大切だと考えます。

そのような中、昨年より六実三小学区でスタートした避難所運営会議は、災害発生時の避難所運営を地域住民と市役所、小学校が一体となり考える、とても先進的な取り組みです。この会議は今年度より六実小学校区でもスタートし、六実二小学区でも今年度中に開催予定です。

私はこの試みを市内全域に展開したいと考え、平成26年9月の定例議会で質問をしました。回答内容より、市役所はこの会議体を重要な先行事例として認識しており、今後市内全域に広めていく予定である事がわかりました(左表参照)。

地域住民の皆さまのご尽力により、市政をより良い方向に発展させることができました。

表 平成26年9月議会での質問事項②

テーマ：避難所運営会議について

質問内容	市役所からの回答要旨
(1)先行事例として行われた避難所運営の意義をどう捉えますか？	地域住民の皆さまの防災に関する意識が醸成され、また避難所運営に関する認識が共有された重要な会議であると認識しております。
(2)この会議体を他の小学校区にも展開していくべきと考えるが、その方針か？	平成29年度までに、全ての市立小中学校避難所で自主運営体制を整える目標であり、この先進的な事例を活用して参りたいと考えております。

まだまだ足りない市の防災体制、その改善が私の使命です！

避難所運営会議には設立当初から協力させていただきましたが、地域住民の皆さまの意識が醸成される一方で、行政の抱える問題がいくつも顕在化しました。残念ながら、現時点における松戸市行政の防災体制は、万全には程遠い状態であり、まだまだやるべき事が山積みとなっています。

防災体制の検討や情報の共有、訓練など、本来は市役所全体で取り組むべきことですが、現在防災体制を検討するのは危機管理課の職務に留まっています。私は、この事に強い危機感を抱いております。

冒頭でも申し上げた通り、防災対策は待ったなしの課題です。

松戸市を“いつ災害が発生しても安心できる”地域にすることは、避難所運営会議を立ち上げ、松戸市防災体制の現状と課題を認識した私の使命です。

今後、各地域での避難所運営会議を維持発展させるとともに、市の抱える問題や課題の解決・改善に邁進して参りますので、今後とも皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

関連記事はこちら。→→→→

<http://d.hatena.ne.jp/ishii136/20141001/p1>



石井いさむの日々の活動、市政の最新情報は、公式ブログ「石井いさむの現場1000回」で!!

<http://d.hatena.ne.jp/ishii136/>

二次元バーコードを読み込み、
携帯電話でもご覧いただけます。

